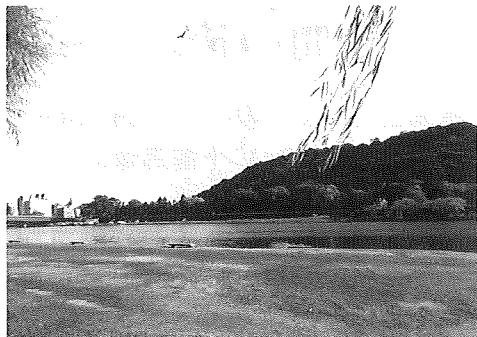
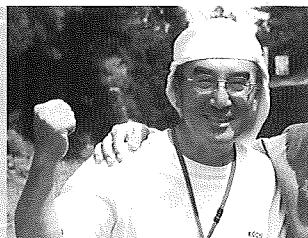


高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会

私のテーマ

龍馬のもう一人のお爺ちゃんの墓

現代龍馬学会 植田 英



墓所近辺の鏡川風景

人々に忘れられていた場所

私は密かな楽しみがある。それは坂本龍馬のもう一人のお爺ちゃんが眠る墓所の清掃をしている事である。

龍馬の母方のお爺ちゃんは坂本八蔵直澄であるが、お父さん八平は婿養子なので、父方のお爺ちゃんは潮江村の山本覚右衛門という人になる。

龍馬の墓は京都霊山護国神社にあり、龍馬の両親や姉乙女の墓は高知市の丹中山に祀られていることはだれもが知っている。

全国の龍馬ファンはこそつて丹中山の墓を訪れるが、もう一人のお爺ちゃんが眠っている潮江山の山本家の墓所の存在を知らない。

私が山本家の墓所を探してたのはもう15年前の事であった。

高知の郷土史家である山田一郎著『坂本龍馬・隠された肖像』の本に、龍馬や姉乙女の体格からして、

山本家の血を多く引き継いでいるにちがいない。にも拘わらず龍馬ファンはこそつて丹中山の墓地を訪れる。片手落ちではないか、というような内容の記載があった。

早速、本を片手に潮江山の山中を探し回った。2時間ほどかからず見つけた。その事を全国龍馬ファンの大会で得意げに話をして、たら、東京龍馬会のMさんがぜひ案内をして欲しいと高知に来られた。

山本家の墓所は1メートル以上の高さの草に覆われていて、それを見たMさんは「かわいそう！」と独り言をつぶやいた。

私はその言葉にショックを受けた。地元の龍馬のファンがこんな現状をこのまま放置して良いものか、と思い行動を起こした。

まず、郷土史家の山田先生に相談した。他人が放棄されている山本家の墓所を清掃しても良いものだろうか、先生は地元の町内会などを計つていただき、清掃の許可をもらってくれた。

山本家は途中から桑津と名前を変えている。子孫は高知県には存在せず、噂によると鹿児島におられるが、詳細は不明のこと。

清掃を引き受けた以来、現在まで年に2回春と秋の彼岸の前には必ず清掃するようになつた。清掃後にはしきび、花と線香を供えている。

10年前には墓の花筒の取り換え

もしたし、墓所の入り口には「ここは龍馬のお爺ちゃんが眠る墓所である」と云う看板も設置した。

最近、寄る年波に勝てずか、山の途中で息切れをしてしまう始末である。ぼちぼち墓所の清掃というか、墓の管理してくれる後継者を育てなければいけない時期に来ているのではないかと思つてゐる今日

山本卓馬は江戸で、醉った勢いで商人の落とした懷中時計を質屋で金に換え酒を飲んだ。それが判明、土佐藩から切腹を申し渡されたが龍馬と武市の粹な計らいで北海道へと逃亡する。

函館で宮司として仕えるが、ロシアのキリスト教の司祭ニコライを、キリスト教は日本を滅ぼす異教だとし殺害に行くがニコライに説得され、龍馬と同じように弟子となれた。

山本卓馬は江戸で、醉った勢いで商人の落とした懷中時計を質屋で金に換え酒を飲んだ。それが判明、土佐藩から切腹を申し渡されたが龍馬と武市の粹な計らいで北海道へと逃亡する。

坂本龍馬のおじいさんのお墓
(津邊琢磨のご家族のお墓)

管理



森 健志郎 (もり・けんしろう)
プロフィール

高知県立坂本龍馬記念館館長。1941年11月、中国・張家口生まれ。

高知新聞社会部記者を振り出しに、社会部長など勤め、定年退職。その後、中国新疆ウイグル地区にある新疆大学に留学し、帰国後現職に就く。

当日は「1941」番の札をつけて参加。



が最大の魅力ぜよ。
毎日龍馬に触れていると、何か
分からんが、自分自身が龍馬的な
考え方になってくる。

今まで、尊敬する人は? って聞
かれたら、学生時代には武者小路
実篤だと答えていた。その原点には、私がクリスチャンだということ
がある。小学生から高校生の半ば
まで、教会や日曜学校に通い、おふ
くろや神父さんの話からいろいろ
学んだ。皆は“えせクリスチヤン”
だと言うが、モーゼの十戒の話を聞
き、聖書をよく読んだ。悪いことも
いたけどねえ(笑)。

今まで、尊敬する人は? って聞
かれたら、学生時代には武者小路
実篤だと答えていた。その原点には、私がクリスチヤンだということ
がある。小学生から高校生の半ば
まで、教会や日曜学校に通い、おふ
くろや神父さんの話からいろいろ
学んだ。皆は“えせクリスチヤン”
だと言うが、モーゼの十戒の話を聞
き、聖書をよく読んだ。悪いことも
いたけどねえ(笑)。

—— 今そんな小さい頃のことを考
えても、教会で受けた影響が龍馬への
思いに結びついているのではないか。
龍馬は人間の本質的なところに結
びついている人だとと思う。

—— そこまで敬虔なクリスチヤン
だとは知りませんでした(笑)。原体
験が龍馬に結びつくというのは面白
いですね。

私が館に来て7年余り。その集
大成が今回のイベントやったと思う
ね。近年を振り返ってみても、NH
K 大河ドラマ『龍馬伝』開館20周
年に向けた取り組み、3.11 アメリ
カフォーラム、というように大きな
流れがあった。それらのことが今回
のシェイクハンドにつながってきた。

私が館に来て7年余り。その集
大成が今回のイベントやったと思う
ね。近年を振り返ってみても、NH
K 大河ドラマ『龍馬伝』開館20周
年に向けた取り組み、3.11 アメリ
カフォーラム、というように大きな
流れがあった。それらのことが今回
のシェイクハンドにつながってきた。

—— 900人が手をつなぎ、ビビットと電気が走
るんじゃないかと言つていましたが、
どうでしたか?

—— 鎖“ができたとき、ビビットと電気が走
るんじゃないかと言つていましたが、
どうでしたか?

—— 森館長にとって龍馬とは?
—— 「私心なく人に尽くす」というと
ころが大好きやね。逆に言うと、い
かにこの世の中が私心だらけかと
いうことだらう。今も昔も龍馬の
周りには私心ある人が集まってる。
しかし、龍馬は結果的にそう
ではない方へ引っぱってくれる。そ
れが触れる像の誕生やつたね。

私心なく人に尽くす



—— 今最も心に残る人は、李登輝さ
ん(台湾元総裁)と孫正義さん(ソ
トバンク社長)。龍馬がこの二人に出
会わせてくれた。政治家と経済人
という違いはあるが、二人と共に通し
ているのは生きる信条に龍馬がお
る。龍馬に影響を受けて、龍馬の如
く生きている人たちだということ
だろう。

—— 今最も心に残る人は、李登輝さ
ん(台湾元総裁)と孫正義さん(ソ
トバンク社長)。龍馬がこの二人に出
会わせてくれた。政治家と経済人
という違いはあるが、二人と共に通し
ているのは生きる信条に龍馬がお
る。龍馬に影響を受けて、龍馬の如
く生きている人たちだということ
だろう。

私は記者時代、サツ回りで“人の
善悪”を見て、鍛えられてきた。本
当にいろんな人に会ってきた。けん
ど、この一人には今まで会ったどん
な人とも違う雰囲気、感覚、オーラ
がある。やっぱり龍馬のおかげで出
会えた人たちぜよ。

—— 開始前、
大勢の人が手を
つなぎ、握手の
意味

いぜよ。

—— どうして、いつから、桂浜の
龍馬像と記念館前の龍馬像を“握手
の鎖”でつなごうと思ったのです
か?

—— あれから暦が替わっても、ま
だ感動されやしない様子ですね。

—— どうして、いつから、桂浜の
龍馬像と記念館前の龍馬像を“握手
の鎖”でつなごうと思ったのです
か?

—— どうして、いつから、桂浜の
龍馬像と記念館前の龍馬像を“握手
の鎖”で

写真の威力

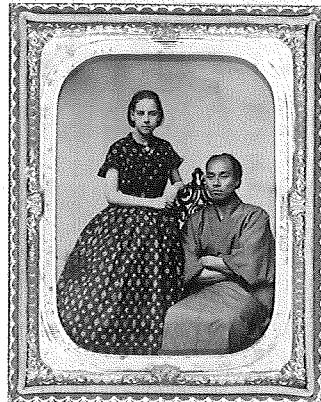
京都国立博物館 宮川 穎一

坂本龍馬の写真好きは有名だ。その風貌が数点の写真に残されてゐるため「茫洋とした雰囲気の人物だ」などと認識されているのだ。

現在筆者が注目している写真是、福沢諭吉先生（天保五年一月）のもの。高校のある大分県中津市が福沢先生の故郷（中津藩の下級武士だつたから）というのが先生と呼ぶ理由のひとつである。

最近、中津市にある福沢諭吉記念館を見学した。そこには数多くの写真が展示されていた。福沢先生も写真を撮られるのが好きだったようだ。いくつもある福沢先生の写真で日本の近代化にまで影響を与えたものがある。それは万延元年（1860）の幕府による遣米使節団（船中八策）をとり大政奉還実現に向けて背中を押しました。土佐藩の傘下に入った土佐海援隊に財政支援をしました。西郷隆盛・木戸孝允・高杉晋作・中岡慎太郎・陸奥宗光・松平春獄…時代の変革期に出会い未来に向けて汗をかいたことが大きな成果（明治維新）をあげたのです。

撮影された写真のことである。福沢先生は『福翁自伝』のなかで同行者に真似されないようにと日本への帰路にある寄港地のハワイを



（慶應義塾福澤研究センター提供）

この写真は「攘夷」が昂揚して、いた文久年間に郷里の中津の実家へと送られた。そして見にきた若者（青木周蔵）のちの外務大臣がこの写真に衝撃を受けて漢学をやめて洋学を志すようになったとされているのだ。『学問のすすめ』や『文明論之概略』などの著作物で

真だ。百万言をついやすくもたらす未来図を若者に見せたのである。福沢先生のお茶目な性格がもたらした二枚であり、写真のもつ力を示す一枚なのである。

たしかに今見ても羨ましい写真だ。百万言をついやすくもたらす未来図を若者に見せたのである。福沢先生のお茶目な性格がもたらした二枚であり、写真のもつ力を示す一枚なのである。

坂本龍馬のこと

坂本龍馬の魅力

会員 北野正幸

龍馬は子供のころあまり勉強ができませんでした。しかし母親代わりだった3歳上の乙女姉さんからスパルタ教育を受けて芽が出てきました。この芽がやがて大輪の花を咲かせました。

私が龍馬の名前を知ったのは50年以上前の小学生の頃です。当時親戚のいとこが実家に下宿して、昼間働きながら夜間都内の大学に通学していました。ある日龍馬のことを熱く語ってくれました。龍馬が英雄であることを知りそれ以来龍馬ファンになりました。

平成20年5月15日、坂本龍馬の妻おりょうの若いころの写真が夕刊に掲載されていました。新聞記事によると研究者間では、おりょうは写真撮影を嫌っていたと記されていました。若いころの写真が発見されたことはうれしく思います。そしておりょうの写真が龍馬記念館を知るきっかけになりました。

平成22年4月下旬から龍馬伝（特別企画展）が江戸東京博物館で開催されました。平日なのに展示室入口前は数メートルの列ができていました。

龍馬は生前様々な人物と出会いました。土佐勤王党首・武市半平太は龍馬の親友でした。近藤長次郎・岩崎弥太郎は異色の人物として紹介されていました。龍馬の目から見ると将棋の飛車・角の存在だったと思います。勝海舟と出会ったことが龍馬の運命を変えました。龍馬の妻おりょうは愛の力で夫を支えました。後藤象二郎は龍馬の策（船中八策）をとり大政奉還実現に向けて背中を押しました。土佐藩の傘下に入った土佐海援隊に財政支援をしました。西郷隆盛・木戸孝允・高杉晋作・中岡慎太郎・陸奥宗光・松平春獄…時代の変革期に出会い未来に向けて汗をかいたことが大きな成果（明治維新）をあげたのです。

パソコン入門講座受講期間中に坂本龍馬記念館を知りました。ホームページを開きページを見て回りました。龍馬の功績&人柄がなんなくですが映画の寅さんのような親しみを感じました。

“話してみるかよ”

“Hand-in-Hand” 永国淳哉

竜頭岬の丘から浦戸城跡に建つ龍馬記念館。それぞれの場所に立つ龍馬像を結んで、日本中の老若男女が“Hand-in-Hand”。本年、龍馬生誕日の後の日曜の早朝、新しい“絆”ができるがった。

「いまも龍馬は生きている～～～」オンチャンコーラスが全山に響いた。

心地良い司会のリズムが、時の過ぎているのを忘れさせ、イベントは“アッ”という間にフィナーレ。「現代こころ八策」を皆で宣言した。

「1.家族を大切にしよう。」「2.お年寄り…」…。

龍馬姿の子どもの間に手を躍らせながら、「6.志は高く持とう」「7.勇気を持って行動しよう」と声を合せた。

そして、龍馬の「船中八策」を想った。

今から百五十年前、同じように“絆”を求めて、全国の「志」ある人々——あらゆる階層の武士、浪人、村役人、農人、商人たち…老いも若きも、男も女も参加して“桜咲く日本”的に論じ合い、手を組んだ。

そもそも黒船来航で開国した後、着任したハリス米総領事と井伊直弼大老が、修好通商条約に調印したあたりから騒ぎが大きくなつた。勅許なしで内容は、「不平等極まりない」。“志士”といわれていた若者の先頭に立つて、龍馬も故郷を捨て、奔った。奔りながら、“平和”的な重要さを考え、「船中八策」をまとめあげた。

その「志」高き精神は、龍馬亡き後も生き続き、今日の“絆”が築かれてきたのだ。

予想二倍の千人が、笑顔で手をつなぎ「8.レツゴウ “Hand-in-Hand”」と叫んだ朝だった。